



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年 3月17日

日本鉄道労働組合連合会

JR西労組 中央闘争委員会開催

## 春季生活闘争の回答は来週以降に

JR西労組中央闘争委員会は、回答指定日である本日3月17日に会社から「2021春季生活闘争の回答について現時点においてもまだ判断できる状況でないことから、来週以降に回答したい」との説明を受けた。

会社は、「緊急事態宣言解除後の収入動向に回復の兆しが見られず、現在も次年度の事業計画策定にむけてコストの見直しを検討していることから現時点では判断できない」と慎重な姿勢を崩さなかった。

これに対し中央闘争委員会は、「組合員の雇用と生活を守るためにベースアップ要求を見送るなど苦渋の決断をしており、このことの重みを会社として強く受け止めるべきである」と強く訴えるとともに、「昨年の年間臨給の見直しや一時帰休等の様々な施策にも会社存続のために組合員は協力しており、年度初の基準昇給実施及び年間臨給の満額回答が組合員の安心と将来への希望につながる」と早期の回答を求めた。

会社は訴えを受け止めた上で、「基準昇給は賃金制度の根幹でもあり極めて重要なものであると認識している。引き続き経営状況を見極めて慎重な判断をすることになるが、極めて強い要求を踏まえ、基準昇給については年度初に実施できるように検討を進めている」と述べ、この説明を持って基準昇給については実施されると判断するに至った。

また、会社は年間臨給について、「次年度の厳しい経営状況が予想されることから非常に厳しいものとならざるをえない。回答については、今年度の収入状況や来年度の見通しなどを見極めたうえで来週以降に回答したい」と説明した。